

2016年度生体情報研究室研究テーマ

活性 鍛錬

脳内血行動態および心拍変動を用いた立体映像注視時の生理的影響評価
単一課題と二重課題でのワークロード評価における生理指標の有用性
パフォーマンス時における呈示方法の異なる時間的圧迫の生理心理効果
記憶手法の違いによる記憶定着率の差異
映像呈示方式の違いによる生理心理作用評価
能動運動の負荷の違いによる認知判断能力の生理心理差異
単調作業に対する二重課題の有用性

休息 睡眠

疲労緩和手法としての呼吸周期統制の有用性
個人由来の心拍間隔に基づく音刺激と振動刺激呈示による生体への効果
精神疲労に対する個人由来の運動強度が異なるアクティブレスト効果
休息・活性状態における心拍・脳波・呼吸のゆらぎの関係
パワーナップにおける覚醒手法の違いが作業効率に及ぼす影響
安静座位手法としての暗室使用の有用性
心拍情報のローレンツプロット解析による入眠状態の推定
天然・人工木材の視覚及び触覚刺激時における生理心理の変化